

# 未来まちづくりニュース

柏ビレジ自治会  
未来まちづくり部・柏ビレジ  
グランドデザイン推進プロジェクト  
〒277-0813 千葉県柏市大室1-31-12

7



買物、通院、駅などへのアクセスが一段と便利に！来年春の走行が予定されているコミュニティバス(イメージ)

## TOPICS

- 会長メッセージ
- 「朝の見守り活動」の受賞を受けて
- 「柏ビレジ老年学講座」講師募集
- 「コミュニティバス」準備状況のご報告
- 「水辺公園リニューアル」進捗のご報告

## ■ 会長メッセージ

まちづくりの核

柏ビレジ自治会長 シュビンドラー 千恵子



皆様、こんにちは。平素は自治会活動にご理解ご協力いただき有難うございます。さて、約半年前に本ニュース第6号にて柏ビレジ「水辺の公園リニューアル」アンケート調査結果をご報告したところですが、それを元に検討を重ねた結果の現在の進捗状況をご報告いたします。また2020年、柏市と共同で交通アンケート調査を実施した調査結果を、本ニュース第3号・4号でご報告させていただきました。その後、交通分科会を立ち上げ、メンバーとパートナーのバス会社で協議を重ねた独自のコミュニティバスの運行案をお示しいたします。

グランドデザインの優先3つの課題「24時間訪問介護看護サービスの導入」「コミュニティバスの運行」「水辺の公園リニューアル(40周年記念事業)」は、コロナ禍にも酷暑にも負けず、各リーダーを中心にメンバーによって目標に向かって鋭意推進中です。グランドデザイン推進プロジェクトリーダーをはじめメンバー各位におかれましては、並々ならぬご尽力を賜りこの場を借りて心より感謝申し上げます。私たちは、柏ビレジの皆様にとって住み続けられるまち、若い世代が住みたくなるまちを目指しております。引き続き、温かいご支援のほど切にお願い申し上げます。

## ■ 「朝の見守り活動」の受賞を受けて

安心なまちづくり

「朝の見守り活動」前タスクリーダー 村上伸二



会長から授与された村上さん

この度「たなか地区青少年連絡育成協議会」様より「朝の見守り活動一同様」として表彰されました。この活動は、登校時に子ども達が交差点を安全に渡れるよう見守るもので子育て世代にとっての“まち”選びの魅力の一つとなることを願って2018年4月から始めました。今年で5年目になります。この細やかな活動が、子ども達の安全に少しでも寄与できた喜びを共に活動した仲間と分かち合いたいと思います。次の方々にご協力いただきました。(計28名・敬称略)

渥美満美、飯野瑞穂、石川由紀子、臼井智美、大野達雄、岡島良卓、岡村脩二、小川喜成、加藤正俊、木村史朗、組橋怜子、佐々木裕久、澁田夏子、砂川高志、高橋克彦、竹山修次、中村繁夫、野村芳守、百本隆一、堀美晴、宮崎泰雄、村上伸二、村松貴子、森克彦、森美智子、森下紀美子、山本伸一、芳之内莊平の皆さんです。お疲れ様でした。引き続き活動されている方々は改めてよろしく願いいたします。活動を通じ多くの思い出を共有できました。子ども達からの感謝の手紙、小学校での感謝の会、何より「おはよう」、「行ってきます」と元気に挨拶してくれる子ども達からは元気ももらえています。子育て世代のご家庭が「住みたい」と感じるまちづくりの一活動としてお役に立てていれば幸いです。

## ■ 「柏ビレジ老年学講座」講師募集

健康なまちづくり

柏ビレジ自治会・副会長 「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス導入推進」タスクリーダー 森田 幸次



満席となった6/18(土)自治会館で開催された「老年学講座」

「老年学」は、英語ではジェロントロジー(gerontology)と呼ばれ、1903年に生まれた比較的新しい学問です。加齢に伴って生じるさまざまな課題を扱い、生涯をより良く生きるための方法を追究していくことを目的に、医学や心理学、生理学、社会学、栄養学など、さまざまな学問分野が連携して取り組んでいこうという学際的な視点が特徴の学問です。(※三井住友信託銀行HPより抜粋) 柏ビレジ老年学講座は「人生最期まで、住み慣れた柏ビレジの”我が家”で暮らしたい」を目標に「ほくほくセンター」と共催で、これからもさまざまな勉強をしていきたいと思っています。

つきましては、住民の皆さまを対象に、2022年11月以降に開催します講座の講師を募集します。

- <既に開講講座が決まっているもの> 第4回 9月17日(土)「福祉施設の種類や特徴」 第5回 10月15日(土)「コロナ禍の健康長寿の秘訣」 <過去開催のもの> ①「定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービス」 ②「親族後見人のための成年後見制度」 ③「認知症サポーター養成講座」 <11月以降に開催予定のもの> ①「災害時の個別避難計画」 ②「見守りカメラ付きコミュニケーションロボット」

■ 柏ビレジ「コミュニティバス」準備状況のご報告 (1/2)

利便なまちづくり

未来まちづくり部・柏ビレジランドデザイン推進プロジェクトリーダー  
交通タスクリーダー 大野 達雄

■ 年々厳しさを増す路線バス事情

皆さまもご存知のとおり、この7月末に東武バスの運行ダイヤが大幅に改定されました。コロナ感染拡大に伴う運転手不足への対応によるものとのことです。東武バス運行エリア全域が対象となり、柏ビレジだけでも平日を中心に、以前に比べ約30%減という大幅な減便となりました。こうした路線バスの年々厳しさを増す環境変化に対処するため、自治会では、シュピンドラー会長の下、新たなタスクチームを編成。柏ビレジ独自コミュニティバスの運行を来年春に実現させることを目標に毎月検討を重ねてきた「案」が、このほどまとまりましたので、以下のとおりご報告させていただきます。

■ 柏ビレジコミュニティバス～運行にあたっての基本的方向性

タスクチームで議論を重ねてきた延べ36のルート案から、絞り込まれた候補ルートを実際に試走。同じタイミングで参加者に対して実施したアンケート調査結果なども参考に、以下の「運行にあたっての基本的方向性」をまとめました。

■ 運行バスルート(案)と運行にあたっての基本的方向性



タスクチームによって絞り込まれた4ルート案

- ① 柏ビレジ内の「公共交通空白不便地域」にお住まいの皆さまにご利用いただけるルートを優先的に設定する。
- ② 路線バスが走れない土手など狭あい道路のルートも新設する。
- ③ 最寄駅でありながら17年もの間交通アクセス手段がなかった柏ビレジ～柏たなか駅(東口)間を最重要ルートとして位置付ける。
- ④ 朝夕の通勤・通学時に困っている方々のニーズに少しでも対応するため、柏ビレジ～柏たなか駅(東口)～柏の葉キャンパス駅(西口)間も新たに設定する。当ルートは現在工事中の16号線を横切る「アンダーパス」(※2023年2月13日完成予定)を利用した柏の葉キャンパス駅に最短時間でアクセスできる新ルート。
- ⑤ 2001年の「東急ストア」の撤退以降、買物に不便を感じる多くの方々を対象に、主に昼の時間帯の買物ニーズに少しでも対応。柏ビレジ住民が日常、最も利用する近場の「ヨークマートエリア」や大規模商業施設が揃ったやや遠方にある「モラージュ柏エリア」へのアクセスを曜日や運行本数を限定した上で新設する。
- ⑥ 同時に、現状の東武バスへの影響を最小限に抑えるとともに、時間差による同バスの利用増にも繋がるよう、できるだけ現状の時刻表と重複しないダイヤ設定や運行ルートを設定する。
- ⑦ 柏ビレジ内のバス停は、シニアの方々にも配慮し、できるだけ半径300m以内に収まるよう設置する。(※後日、詳細マップを配布)

■ 運行日・運行時刻表(案)

- ① 右表は本年11月の実証実験時の曜日別時刻表(案)です。
- ② 運行は平日(月～金)のみです。(※土日祝祭日を除く)
- ③ 出発地点での時刻表は原則「定時運行」となります。
- ④ ヨークマートエリアでの買物時間は1時間、モラージュ柏は2時間を想定しています。
- ⑤ 来年4月の本格運行時の運行日・時刻表・バス停などは、実証実験等の結果をもとに最終調整を行う予定です。
- ⑥ 料金やバス停ごとの時刻表などの詳細は、後日、改めてご案内させていただきます。

曜日	行先	ルート名	時刻															
			運行便	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時			
月・水・金	キャンパス駅	Aルート② (2022年11月のみ) ★実証実験期間(限定)	柏ビレジ(9支部)	7:00	8:00	9:00						13:00			16:00	17:00	18:00	
			柏たなか駅(東口)	○	○	○						○			○	○	○	
			キャンパス駅(西口)	7:30	8:30	9:30						13:30			16:30	17:30	18:30	
			柏たなか駅(東口)	○	○	○						○			○	○	○	
月・水・金	ヨークマート	Bルート	柏ビレジ(商店街)				10:00	11:00				14:00	15:00					
			柏たなか駅(東口)				○	○				○	○					
			ヨークマートエリア				10:30	11:30				14:30	15:30					
			柏たなか駅(東口)				○	○				○	○					

曜日	行先	ルート名	時刻															
			運行便	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時			
火・木	キャンパス駅	Aルート② (2022年11月のみ) ★実証実験期間(限定)	柏ビレジ(9支部)	7:00	8:00	9:00	10:00						14:00		16:00	17:00	18:00	
			柏たなか駅(東口)	○	○	○	○						○		○	○	○	
			キャンパス駅(西口)	7:30	8:30	9:30	10:30						14:30		16:30	17:30	18:30	
			柏たなか駅(東口)	○	○	○	○						○		○	○	○	
火・木	モラージュ柏	Cルート	柏ビレジ(9支部)	8:00	9:00	10:00	11:00						15:00		17:00	18:00	19:00	
			柏ビレジ(商店街)					11:00	12:00				13:00	15:00				
			柏たなか駅(東口)					○	○				○	○				
			モラージュ柏エリア					11:30	12:30				13:30	15:30				

コミュニティバスの運行する曜日と行先別に設定された時刻表(案)

■ 柏ビレジ「コミュニティバス」準備状況のご報告 (2/2)

交通分科会～タスクメンバーの皆さん



自治会員と運行事業者で構成される17名のタスクメンバー

■ 組織体制について：自治会長、副会長、未来まちづくり部長、子ども部長をはじめ、柏ビレジグランドデザイン推進プロジェクトメンバー、「未来まちづくり協議会」の諸団体(ビレジサポート、新樹会、はなみずき、建築緑地協定委員会)の責任者から推薦をいただいたメンバーの皆さんから編成。また、運行委託するアビコ西武観光(株)のお二方も、初期の段階よりメンバーの一員として参画いただき現在まで約半年間にわたり検討会議を進めてきました。

今後、秋の実証実験を経て、来年春の本格運行に向け、更に準備を進めてまいります。主なメンバー(50音順・敬称略)は明渡晃、大野達雄、岡田小央里、角谷昭彦、梶陽介、蔵武紘、佐藤宗弘、柴田豊、シュピンドラー千恵子、高橋秀彰、高柳キミエ、寺田雅年、松尾貴子、松本彰、森田幸次、米原文明、横堀正枝からなる17名の皆さんです。本格運行実現までには、まだまだクリアすべき課題が山積していますが、現在までに、運行ルート案、バス停案、時刻表案が固められたのは、ボランティアで積極的にご協力いただいたメンバーの皆さんのおかげと心から感謝しています。



毎回活発な議論が交わされる交通分科会の会議(ワークショップ)の様子

運行パートナーのご紹介

アビコ西武観光株式会社 代表取締役社長 梶 陽介



自社バスを背に梶社長

弊社は1989年に設立し、地域の皆様の旅行のお手伝いという思いで貸切観光バス事業を開始いたしました。現在、「新樹会」様には定期的にご利用いただき、それぞれの趣味に応じた旅行プランを企画され、多くの住民の皆様にもご利用いただいております。そのような中で、今回の柏ビレジコミュニティバスの運行パートナーとして参画させていただくことになりましたので、思い入れも強く自分もバスを利用する住民であるように臨ませていただいております。

弊社の強みとしては、接客サービスの質の高さだと自負しております。どのバス会社も利用するバスは各社ともカラーリングは変われど車自体はほぼ同じです。それ以外に差別化を図れるとすれば乗務員の質であろうということで常日頃から接客サービスの向上に向けて取り組んでまいりました。近隣で言えばモラージュ柏の定期送迎バスも弊社が運行させていただいている仕事の一つです。モラージュ様も以前は送迎バスのサービスに悩みを抱えており、弊社で運行してからはお客様からのクレームも激減したとお褒めの言葉をいただいております。

今回、コミュニティバスの運行に向けて会議を重ねていく間に感じたことは、タスクメンバーの皆さんが非常に前向きで地域のコミュニティとして非常にレベルが高いことに驚きました。ここまで組織として確立している自治会は珍しく、毎回自由闊達な意見交換が行われているので弊社としても安心して会議に参加させていただいております。コミュニティバス運行の目的として、公共交通空白不便地域の解消とともに、買物などで利用する商業施設や病院、駅までの移動の足を確保することにより、今まで以上に住民サービスの利便性を高め、より暮らしやすい町にしていくことを目的としています。「貸切」という柏ビレジ独自のバスになりますので、法律上、原則として、住民(自治会員)以外の方は利用できませんし、必要としない停留所も止まることはありません。一人でも多くの皆様にご利用いただけるようタスクチームの皆さんと力を合わせて取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

■ 秋の実証実験に向けて

本年11月を目標に、柏ビレジ自治会員の皆さまを対象にした初の実証実験(1か月間)を行います。実証実験とは、タスクチームで検討してきた内容(※運行ルート、バス停、時刻表、など)を事前段階において、実際に住民の皆さまにご利用いただくことで、本格運行に向けた問題点や課題などを洗い出し、対策を練ることで、運行計画をより適正なものにするためのものです。同時に、実証実験とともにアンケート調査も実施し検証することになりますが、この結果次第で柏ビレジとしてコミュニティバスを正式に運行すべきか否かを自治会が判断する重要な機会ともなります。いずれにしても実証実験では、できるだけ多くの皆さまに手軽にご利用いただけますよう「回数券」だけの販売を予定しています。詳細は、現在分科会にて料金を含め検討中ですので、具体的な内容が固まり次第改めてご案内させていただきます。柏ビレジ初の独自コミュニティバスの実現に向け、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

柏ビレジ自治会・未来まちづくり部 部長

柏ビレジ「40周年記念事業」タスク～サブリーダー 横堀 正枝

## 「都市再生整備計画」～魅力的なまちづくりを目指して

平素は柏ビレジグランドデザイン、ならびに未来まちづくり部の活動にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。かねてより皆様にご紹介をしている、中長期全体構想「柏ビレジ・グランドデザイン」は、現在も、継続して柏市と協議を重ねています。途中経過にはなりますが、2022年4月、「都市再生整備計画」が柏市により制定され、いよいよ実現に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

「都市再生整備計画」とは、都市再生特別措置法に基づき、都市再生を目的として市町村が策定する計画であり、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりに対して総合的な支援を行うことを目的としています。（引用：国土交通省）さらに、2020年6月には都市再生特別措置法の一部を改正する法律が成立し、「安全なまちづくり」および「魅力的なまちづくり」の推進を柱とする内容に改正されています。現在、柏ビレジにおいて「都市再生整備計画」で検討が予定されている項目は、●遊歩道の整備 ●第5公園中央広場のバリアフリー化 ●ビオトープのリニューアルなどです。こうした計画が、今後具体的に進展次第、あらためて皆さまにご報告させていただきます。

## 「水辺公園リニューアル」～まずは環境維持や安全性の視点からスタート



主に夏場に発生し水面を覆うアオコ～柏ビレジ水辺公園（第1調整池）

柏ビレジグランドデザインは、このような行政による都市再生の流れも汲み、この先の50年も住民が安心、安全にそして柏ビレジに住まうことを誇りに思えるようなまちづくりを目指しています。柏ビレジは成熟したレンガの美しい街並みはもちろん、美しい自然環境資源が豊富にあることが魅力の一つであると思います。木々が大きく育ち、春には満開の桜を楽しめる近隣公園（約2ha）や、沼杉とよばれる美しい「ラクウショウ」の森が広がり、ときには珍しい野鳥や小動物もやってくる水辺公園&第5公園（約6ha）は柏ビレジが誇る大変貴重な自然資源です。

一方で、水辺公園は長年手が加えられることなく、経年によるフェンスの劣化や遊歩道の老朽化、また、雨天には足元が滑りやすく、凸凹な地面は車椅子やベビーカーでは公園内を安全・快適に楽しむことが難しい状況です。自治会は大規模な公園リニューアルとしてではなく、まずはこのような安全性に、すでに問題が生じている箇所を中心に修繕を行う予定です。具体的には、破損しているフェンスの修繕、フェンス上部有刺鉄線の撤去、遊歩道の水溜り対策、子どもなどの防犯上の課題にもなっている見通しの悪い植栽の剪定などは柏市よりご対応いただけることとなりました。また、ご承知の通り、夏場に発生するアオコ対策も、長期にわたり自治会の特命担当や環境部の皆さんの積極的な協力を得て、ビオトープの水質管理と並行して進めています。さらに、老朽化の進んだ施設の撤去や、木々の根により起伏が発生している公園正面スペースの整地についても協議を進めています。



水溜りの遊歩道@柏ビレジ第5公園

## 「ビオトープ」～安全性と自然環境のバランスを最優先に



一時的に閉鎖されているビオトープ

並行して、ビオトープの今後の利用方法についても協議中ですが、特にその安全性については多くの方々からすでにご指摘をいただいております、更なる事故防止のため、今後の利用方法が定まるまでの間、一時的に閉鎖させていただくこととなりました。今回、ビオトープが作られた当時の経緯を学ばせていただきその中で触れた住民の皆様の思いも大切にしたいと思っております。

その上で、公園全体の安全性と自然環境維持のバランスを考え、この先も長く憩いの場として楽しめる公園となるよう引き続き協議をしまいたいと思います。私も私の家族もビオトープ利用者の一人ですが、日頃、ビオトープをご愛顧いただいている住民の皆様にはご不便をおかけしています。少しでも早く、今後の方針について皆様にご報告ができるよう一生懸命に頑張りますので、何卒ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。